



カーボンニュートラルへの挑戦を、
e-dashと加速させる。

「令和5年度山の炭素吸収応援プロジェクト」
における森林シンポジウム：
「e-dash」が描く企業の脱炭素化
とクレジットの活用

e-dash株式会社
2024年2月28日

© e-dash Co., Ltd.



山崎 冬馬 やまさき とうま

e-dash株式会社
代表取締役社長

三井物産株式会社に入社後、主に電力等のインフラ事業の新規案件開発及びM&Aを担当。

2015年に米シリコンバレーに駐在し、エネルギーやモビリティ等のクリーンテック分野でのベンチャー投資・事業開発を担当。

帰国後、e-dashの事業を企画・立案し、2022年のe-dash株式会社の設立と同時に代表取締役社長に就任。



社名	e-dash株式会社
本社	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi Oneタワー 6階
代表者	代表取締役社長 山崎冬馬
設立	2022年2月7日
事業内容	CO ₂ 排出量可視化・削減サービス プラットフォーム「 e-dash 」の開発・運営 カーボンクレジットのマーケットプレイス 「 e-dash Carbon Offset 」の運営

COMPANY
MISSION

Xを加速する。

SERVICE
MISSION

Xを加速する。



CO2排出量可視化・削減SaaS

edash



企業や自治体の

CO₂排出量の可視化から削減まで、
総合的にサポートするSaaS

edash は、サービスプラットフォームを通じて、エネルギーの最適化からCO₂削減までをトータルにサポートします。

カーボン・オフセット

edash
Carbon Offset

民間主導で日本初となるマーケットプレイス

カーボン・オフセットを、 誰にも開かれた選択肢へ

カーボン・オフセットは、日頃の生活や経済活動から排出される温室効果ガスのうち、削減が困難な排出量について投資（クレジット等の購入）を通じて埋め合わせる仕組みです。

高品質で信頼できて、目的の用途にもしっかり適しています。そんなクレジットを、必要なオフセット量分だけ手軽に購入可能。

これまでのボランタリークレジットに加え、J-クレジットの取り扱いも開始しました。





脱炭素化への潮流でCO₂排出量の算出・開示・削減に取り組む事業者が増加するとともに、東京証券取引所によるカーボン・クレジット市場の開設によりJ-クレジットの需要増と取引活性化が一定見込まれる一方で、広く一般に開かれた形での活用の拡大にあたっては、仕組みの複雑さが依然として課題。

クレジットには様々な種類があり、どれを選べばよいか悩みやすい

どこに行けば購入できるのか、さらに購入の際の取引可能量や取引可能金額が不透明

取引するための事前登録が必要など、購入までの手続きが複雑

いち早くこの課題の解決するサービスとして、
2022年7月に**国内で初めて**、EC感覚でカーボンクレジットを購入できるマーケットプレイス
e-dash Carbon Offsetを開設しました



e-dash Carbon Offsetの特徴

初めてのご担当者でも簡単に利用できる、5つの特徴でご提供



e-dash Carbon Offsetでは、**画面から希望のプロジェクトを選ぶ** ▶
必要量を入力して購入 ▶ **オフセット証明書※を受領** だけで完了！
非化石証書など他の環境価値と組み合わせた活用も提案しています

※無効化通知またはトランザクション通知を発行します。

1

必要な
オフセット量だけ
少量からでも
購入が可能

2

e-dashの
可視化サービスの
ユーザーでなくとも
利用が可能

3

特別な会員登録や
月額利用料もなしで
利用が可能

4

主要な認証団体の
ボランティアクレジットや
J-クレジットを
常時取り揃え

5

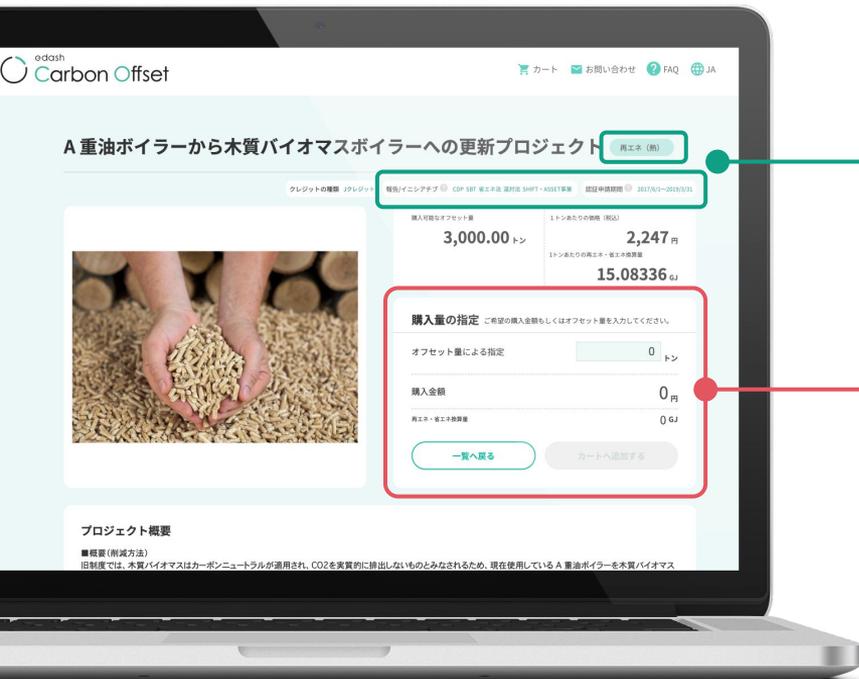
購入手続きは
いつでも
オンラインで完結

※本サービスは法人向けのみの提供です。



e-dash Carbon Offsetの特徴

必要な情報は画面上で一望できる仕様で、検討をサポート



J-クレジットの種類、プロジェクトが認証されている期間、このJ-クレジットが使用できる各種報告やイニシアチブを一目で把握

希望のオフセット量を入力すればすぐに金額が表示され、あとは「カートへ追加する」から購入手続きへ

事例：株式会社小嶋総本店

2023年9月、日本酒の製造においてカーボンニュートラルを達成



課題

- 欧州とのサステナビリティへの「捉え方の重さ」の違いに加え、気候変動の影響を米の品質という形で直接的に受ける日本酒産業で、伝統を次の世代に繋いでいくためにも、脱炭素に取り組む必要性は強く認識。
- 再エネ電力の調達はできていた一方、ボイラーの重油由来の排出量が課題。

コメント

インタビュー記事から抜粋

- 「e-dash Carbon Offset」では、ECサイトでポチッと買い物をするような感覚でJ-クレジットを購入できます。従来の手間を身をもって知っていた分、非常に便利だなと感じましたね。
- 同じ地域・業界で、さらに重油ボイラーという我々がまさに課題として抱えている分野で創出されたクレジットである点が決め手でした。ここでも「ウチらしい」クレジットに巡り会えたのは良かったと感じています。



お問い合わせ

ご不明な点や詳しいお見積もりなど、
お気軽にお問い合わせください。



hello@e-dash.io



e-dashホームページ

<https://e-dash.io>



e-dash Carbon Offset

<https://carbon-offset.e-dash.io>